

ほくあんべんぎゅういんきよやしきあと

牧庵鞭牛隠居屋敷跡

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成元年4月27日

所 在 地：釜石市橋野町

年 代：宝暦5(1755)年～

〔※天明2(1782)年に逝去〕



林宗寺六世住職牧庵鞭牛和尚は、人々の生活の障害を取り除くため、道づくりに生涯を捧げた稀世の禅僧です。道路の開削や改修、架橋工事などその延長は400 kmにも及びました。釜石においては、橋野町中村の小枝街道や栗林と橋野の境の剣(ツルギ)に道路を開削しました。

宝暦5(1755)年、鞭牛和尚は46歳で住職を得水に譲り、太田林の与三郎から隠居屋敷としてこの地を寄附されました。この隠居屋敷跡は、鞭牛和尚が道づくりに生涯を捧げることを発願し、終焉した地です。